

慢性腎臓病(CKD)とは

- ◆「蛋白尿などの腎障害の存在を示す所見」もしくは「腎機能低下」が3か月以上続く状態
- ◆脳梗塞・心筋梗塞等のリスクが上昇し、進行すると人工透析が必要となるなど、健康への重大な影響
- ◆透析患者の急増等により、世界的にCKDの重大性への認識が高まってきている
- ◆適切な治療や生活習慣の改善により、発症や重症化の予防が可能

- <危険因子>
- ・糖尿病
 - ・高血圧
 - ・高齢
 - ・膠原病 等



「腎疾患対策検討会」報告

<p>普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ●CKDの重要性・予防法等を幅広く普及啓発 ●マスメディア、インターネット、保健指導の場などあらゆる機会を活用 	<p>医療連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かかりつけ医と専門医療機関との連携促進 ●保健指導・栄養指導の推進 ●地域における医療連携システムの構築の推進 	<p>診療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●CKD診療ガイドラインの作成、かかりつけ医への普及 ●指導管理の技術の向上 ●糖尿病・循環器疾患等の治療との連携
<p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●腎臓専門医の育成 ●専門医・かかりつけ医の資質向上 ●専門的な保健指導を行う保健師、看護師、管理栄養士等の育成 	<p>研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●診療のエビデンス確立と実践の研究 ●病態解明と治療法開発に関する研究 	

生活習慣病対策
健診による
早期発見

従来からの施策

難病等の研究

人工透析対策
・資質向上
・設備整備
・医療費助成等

臓器移植対策